令和6年度学校評価報告書

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 主体的に学ぶ力の育成 (2) 未来を切り拓く力の育成 (3) スクール・ミッションを実現する組織力と教員の資質・能力の向上 (4) 勤務時間を意識した働き方の推進
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校全般領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのデザインを一新し、教育活動の情報を随時更新するとともに、報道関係を活用した発信を積極的に行った。 ・分掌業務やPTA活動の在り方の見直しを進めた結果、超勤者数が2年連続で激減し、改善が見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地学協働の取組が報道関係やホームページを通して積極的に外部発信されている。教育活動が評価を受け、「地学協働アワード」の2年連続準グランプリや各担当教職員の表彰につながっており素晴らしい。
改善方策	現状のホームページや報道機関等を活用した広報活動を引き続き継続するとともに、学校の広報紙「津高魂」を有効的に活用し、津別町内に教育活動を伝えていく。	
学習指導領域	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しの取組による基礎学力の定着、ICTを活用した授業実施、海外研修報告会やつべつ学発表会での中高連携の取組、地域連携協力校の美幌高校との交流、シラバスに沿った評価改善に引き続き取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なカリキュラムを理解してもらうこと、地域の先生を作り保護者も含めた学習機会を設けること、学習発表会を増やして、多くの方にも参加してもらう機会を作ることを進める。
改善方策	つべつ学での地学協働の取組と、各教科の学習活動を結びつけることで、より地域と密接した学習活動を展開させていく。	
生徒指導領域	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの組織的対応、スクールカウンセラーの1年生全員面談や校長との教育面談など、教育相談活動の充実が図られた。 ・生徒の生活リズムを整え、マナーや態度を身に付けさせることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動を小中の動きとタイアップしたり、学校行事を自然学習と組み合わせたりする工夫が求められている。また今後はネットリテラシーの指導も必要となる。
改善方策	生徒会活動において地域との結びつきを強化するとともに、より一層の主体的参加を促す体制づくりや仕掛けを講じていく。	
進路指導領域	<ul style="list-style-type: none"> ・「つべつ学」と進路につながりを持たせていく取組を進めている。多様な大学入試形態を活用し、国公立大学を含めた進学者が増えたこと、町内企業とのつながりを深め、町内就職者数も増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業職種説明会の参加企業とのつながりを広げ、インターンシップや町内就職に結びつける。大学入試で総合型選抜が入ってきており、多様な学習活動等の成果を活かした人間力育成が求められている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生は次世代の地域を担う人材であり、「つべつ学」の学びを活かすとともに地元企業との結びつきを深め、町内就職や大学卒業後のIターンやJターンにつなげていく。 	
公表方法	学校ホームページへの掲載	